

平成26年度冬季「省エネ節電所エコチャレンジ表彰」受賞者一覧【家庭部門】

賞名	氏名	市町村	削減率 (%)	具体的な取り組み	PR事項
最優秀賞	男性	奈良市	▲34.5	<p>①エコキュートの給湯設定温度を下げた。 (48℃から45℃)</p> <p>②蓄熱暖房機の設定温度を下げた。 (23℃・80%蓄熱→20℃・60%蓄熱→ 18℃・30%蓄熱)</p> <p>③早めに雨戸を閉めて冷気の侵入を防ぐ、暖かい上着を1枚羽織る、靴下を2枚はく、こまめに消灯する、みんなで早寝して暖房や電気を使わない。畑でとれた野菜で鍋を炊くなど、<u>小さな取り組みを重ねた。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体調管理のため、部屋の温度や湿度を保つなど、<u>体に負担のかからない節電に取り組んだ。</u> ・週末には子どもの習い事に出かけたり、実家や雪遊びに連れて行ったりと、<u>積極的に外出してウォームシェアを実践した。</u> ・今回の取組を通して、「<u>節電の意識を家族みんなで共有すること</u>」が最も大切であると感じ、またそれに皆が気付けたことが収穫であった。
優秀賞	男性	奈良市	▲81.7	<p>①新築家屋へ転居する際、エアコン、冷蔵庫、洗濯機などの省エネ家電製品へ買い替え。太陽光発電を設置。</p> <p>②家族が集まるリビングの暖房は床暖房を併設。</p> <p>③エアコンの暖房温度を低めに設定。</p> <p>※太陽光発電設備を設置のため、本来の削減率は▲55.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の断熱を高めるために夜は窓のシャッターや厚手のカーテンを閉めてエアコンの温度設定を低めにして床暖房と併用にする。 ・リビングは整頓をすることで、<u>気軽に家族が集まり、会話も弾み楽しく取り組めた。</u> ・廊下や階段も足元電気以外は通らない時は消灯をし、外灯も家族が揃えば必要以外は消灯した。 ・駐車スペースはソーラーパネル付きの外灯とした。 ・テレビ鑑賞時間も時間を決めて見るようにした。 <p><u>いずれも無理なく取り組めて、将来的にも継続して取り組むことが期待できる。</u></p>
優秀賞	男性	河合町	▲17.2	<p>25年度から取り組み、節電結果は良好であった(嬉しさから)26年度もチャレンジする。</p> <p>①使用しない電気はコンセントを抜く事の徹底。</p> <p>②植物育成温室はタイマーで時間を決め、温湿度管理をする。</p> <p>③水槽のエアーポンプを太陽光発電式にかえた。</p> <p>④外灯は時間を決めて消灯、代わりにソーラーライトを設置した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が同じ目標意識をもつために、<u>節電の家族会議を実施。</u>目標を定め役割分担し、行動することに決定。 ・我が家の「<u>日々努力の取組み点数一覧表</u>」を作成し、取組を実施すればシールを貼るようにした(3才の孫がシール貼りを担当)。孫もシールを貼るのが楽しく、大人も一緒に実行できたのが良かった。 ・<u>家族会議をする事が楽しく、各自が目標や役割分担を意識する。</u>子供の参加も大切で楽しい。今後も取組を継続していきたい。

※削減率→対前年比(12月～1月)の電気使用量の削減率